

# プラウドシティ線

## で行く。バスの旅

停留所名往路 稲毛陸橋経由 ①稲毛駅⑤京成稲毛駅入口⑦稲毛海岸四丁目⑧⑬稲毛海岸駅 停留所名復路 稲毛陸橋経由 ⑬稲毛海岸駅⑦⑫ルネグランマークス⑮京成稲毛駅入口①稲毛駅

⑧プラウドシティイースト⑨プラウドシティヤオコー前⑩プラウドシティウエスト⑪ミライハマ前⑫ルネグランマークス⑬稲毛海岸駅



文化11(1814)年  
巡拝塔・道しるべ  
「右ちばてらへ  
左りさくらミちへ」

文化11(1814)年  
巡拝塔・道しるべ  
「右さくらへ 左りこしほへ」  
こしほえの坂にあり

浅間神社  
大同3(808)年  
に勧請。  
安産と子育ての  
神様です。  
7月4・15日の  
大祭は、とび  
にぎやかです。

二本松弁野天  
稲毛公園の地を埋め立  
てた時、白蛇が逃げだし、この  
辺りで姿を消しました。  
その白蛇を祀りしめた

明治天皇  
御立所  
明治15(1882)年  
習志野での演  
習をご覧の後、  
ここに立ち寄り、  
休息をされました。  
石碑あり。

電気  
ブラン  
「神谷」  
の創業者神谷  
伝兵衛が明治  
15(1882)年につく  
り、人気を博した。  
京成稲毛駅近くの  
酒屋で販売中。

稲毛公園  
公園の松は、日本の松100選。  
根のあがた松は、海  
の近くで生えていた名残

神谷  
伝兵衛邸  
「日本のアイン  
シュタイン」神谷  
氏の別荘。  
外観も内装も  
素晴らしいの  
一言でいい!!  
ぜひ一見  
を!!

ゆかりの家・いらい  
フスエパー 愛親寛羅傳衛  
の弟、傳傑氏が新婚生活を過す  
家。古き良き日本家屋がここに  
あります。

民間航空発祥の地  
明治45(1912)年、稲毛海岸の  
干潟を利用した飛行場を、  
奈良原三次が開設した。  
イースター「鳳号」です。

### 海洋公民館こじま

かつて高洲プールの隣にあった80mほどの白塗りの船が、今も公園や通りの名前で残る、世界初の海洋公民館として開館した「こじま」でした。  
「こじま」は、数奇な運命に翻弄された船でした。昭和20(1945)年3月、海防艦「志賀」として竣工され、4月には水上特攻する戦艦大和を豊後水道まで護衛しました。  
戦後、米軍の連絡船「シガー」、中央气象台の定点観測船「志賀丸」、海上保安大学の練習船「こじま」、海洋公民館として27年活躍の後に平成10年解体されました。  
第二次世界大戦に参加した大日本帝国海軍の艦艇として、最後の生き残りであった「こじま」は、現在高洲スポーツセンター内にあるコーナーに操舵装置などが展示され、穏やかな余生をおくっています。

### 稲毛を訪れた文豪たち



ご乗車ありがとうございます。  
お乗りのプラウドシティ線は、JR 稲毛駅西口5番を起点にプラウドシティを経由して、京葉線稲毛海岸駅を終点とする往復運行をしています  
ルートには京成稲毛駅・浅間神社経由と稲毛陸橋経由がありますので、行先表示やアナウンスを充分ご確認ください。  
現在の国道14号・国道357号から西は、遠浅の海であり、打瀬船が浮かび白砂青松が続く稲毛海岸は、明治21(1888)年に千葉県初の海水浴場が開かれ、海水浴や潮干狩りなどで賑わいました。  
また、広大な干潟を利用して、明治45(1912)年に日本初の民間飛行機練習場が開設されました。  
日本文学史に名を残す文人墨客も美しい風景に惹かれ稲毛を訪れ、いくつかの作品が書かれました。  
稲毛海岸の埋め立ては、昭和36(1961)年から始まり千葉海浜ニュータウンが建設され、京葉線が開通されるなど、現在に至っています。  
プラウドシティ線にお乗りの際は、海に関連の深かった地域の歴史と微かな潮の香をお楽しみ下さい。